

## 雪の少ない冬、桜の早咲き

雪の少ない冬、桜の早咲き、学校の休校など、身近にみられる光景がこんなに大きく変化して戸惑っているこの頃、如何お過ごしですか？今年の桜は、満開になっても心なしか寂しい思いでした。



全国にわたる緊急事態宣言がなされました。強制力の無い自粛を主とするもので、行動の最終決定を個人の良識に委ねているのです。海外ではロックダウンや交通機関をストップさせ、強制的に人の動きを制限しているようですが、果たしていかなる結果・評価が出て来るか、日本人の常識が勝ちとなるか否かということです。

医療の崩壊につながる状態が様々なところで発生しているようです。患者さんの病状に応じてどう扱うかなどを判断するトリアージ(仕分け作業)が的確に行われていないことが、大きくかかわっているようですし、医療スタッフへの感染もあります。また急激な病態の変化等ウィルスの特異性が不明である事も、さらには治療薬が存在しない状態が結果を悪い方向にシフトさせているのだと思われます。今月の連休明けには何らかの目途が見えるはずとの予測に期待しますが、私たち国民は我慢と窮屈な毎日を何とかストレス化しないで、過ごすことが大事です。



様々な人が、沢山のアイデアで気分転換になることを提唱しています。自分に合ったものを取り入れ、とにかく今日を過しましょう。つらい・暗い報道・出来事もあるでしょうが、治療法のない感染症は無いと言われております。

明るい希望を抱いて、明日にすべてをゆだねましょう。体力を失わないように、手洗いうがいをきちんとし、さらには極力外出を控えて、“三つの密”をわが身から遠ざけましょう。

皆さんに明るい笑顔がはや一く戻りますように……。



令和2年5月20日

院長 清治 邦夫